

① 子育てしやすいまちづくりについて

子育て支援の充実の本町の重点課題の一つであり、人口流出防止や定住促進の要でもあると考えます。そこで以下の点について具体的に質問します。

(1) 放課後児童クラブ・学童保育

第9次総合計画では、「子育てと仕事が両立できる子育て環境づくりを目指し、・・・放課後児童クラブの整備・充実など、留守家庭児童の居場所づくりに取り組みます」としています。そこで、放課後児童クラブ（学童保育）の待機状況はどうか。待機が想定されるとすれば、どのような対応を考えていますか。

(2) こども医療費の対象年齢拡大と給付方法の改善

第9次総合計画では「妊娠から出産、子育てまで、安心して子どもを産み育てられるまちを創ります」とし、様々な事業を実施しています。

こども医療費助成については近隣自治体も力を入れ、対象を中学生までに。さらに手元の持ち合わせを心配せず医療機関にかかることができる、現物給付化が時代のすう勢となりつつあります。本町もこの方向へ踏み出すべきではないでしょうか。

(3) 入学準備金〈就学援助〉の早期支給

昨年12月議会で、生活困窮にある世帯の児童・生徒をもつ家庭の新入学時の負担軽減策として入学準備金の早期支給を提案いたしました。

支給月を従来の6月から4月へと前倒しするとの答弁がありました。急な事務量の増加で所管や学校には多大な負担となったことと推察します。一方、町民にとって前向きな対応でありました。

「入学準備金」という名のごとく、入学の準備にあたって支給できることが理想ですし、長崎市をはじめ全国的に4月前に支給する自治体が増えています。本町もさらなる改善が必要だと考えますが、町の考えをうかがいます。

② 入浴補助券の拡充について

本町は高齢者に対し入浴補助券を助成し、健康増進を支援しています。しかし、入浴以外の選択肢を希望する声が後を絶ちません。

この件を昨年6月議会で質したところ、「高齢者に対する支援のあり方を見直し検討していきたい」との回答がありました。さらに検討のあり方について、期限を決めて結論を出すべきではないかと質したことに對し、その方向で考える旨の答弁がありました。どのような方向になったのかをうかがいます。

③ 住宅団地の住環境の課題について

本町で比較的初期に造成された住宅団地の課題、活性化策について幾度か質問をおこなってきました（平成28年9月、27年12月、26年6月等）。

これからの住宅、給排水設備の老朽化、住民の高齢化などに起因し様々な問題や課題が出てくることが想定されます。

(1) 水道の本管から分岐した給水管の計測メーターまでの間で漏水した場合の対処。

(2) いわゆるゴミ屋敷、動物の多頭飼いによる住環境悪化の懸念。

実際このような事例や意見を耳にします。町としてこれらの対応をどのように考えていますか。